

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月03日

計画の名称	計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	豊田市													
計画の目標	都市の浸水対策及び下水道施設のストックマネジメントを行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強いまちづくりを目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,904	A	2,904	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R1末	R2末
1	中部ポンプ場の改築・更新実施率を0%（H29年末）から50%（R2末）に増加させる。			
	中部ポンプ場の改築・更新実施率 改築・更新が行われている施設数／改築・更新すべき施設数	0%	50%	50%
2	雨水マンホール蓋の改築・更新実施率を0%（H29年末）から60%（R2末）に増加させる。			
	雨水マンホール蓋の改築・更新実施率 改築・更新が行われているマンホール蓋数（箇所）／改築・更新すべきマンホール蓋数（箇所）	0%	40%	60%
3	ストックマネジメント計画に基づいた雨水管路の点検調査実施率を0%（H29年末）から49%（R2末）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた雨水管路の点検調査実施率 点検調査実施済みの管路延長（km）／点検調査を実施すべき管路延長（km）	0%	33%	49%
4	公共下水道雨水管路の地震対策実施率を0%（H29年末）から21%（R2末）に増加させる。			
	公共下水道雨水管路の地震対策実施率 地震対策済みの管路延長（m）／地震対策をすべき管路延長（m）	0%	15%	21%
5	境川流域における宅地浸水被害解消のための雨水管路整備率を42%（H29年末）から100%（R2末）に増加させる。			
	境川流域における宅地浸水被害解消のための雨水管路整備率 整備済みの管路延長（m）／整備すべき管路延長（m）	42%	42%	100%
6	ストックマネジメント計画に基づいた雨水管路の更新実施率を0%（H29年末）から22%（R2末）に増加させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた雨水管路の更新実施率 更新実施済の管路延長（m）／更新すべき管路延長（m）	0%	0%	22%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	中部ポンプ場（浸水）	ポンプ場 長寿命化対策（雨水ポンプ、ポンプ棟ほか）	豊田市	■	■				450		策定済
		下水道長寿命化計画																	
		A07-002	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ 場	改築	中部ポンプ場（浸水）	ポンプ場 スtockマネジメント（雨水ポンプ、ポンプ棟ほか）	豊田市	■	■	■			500	
	ストックマネジメント計画																		
	A07-003		下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）マンホール蓋改築・更新	ストックマネジメント N=690箇所	豊田市	■	■	■			170	
		ストックマネジメント計画																	
		A07-004	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）管路改築	ストックマネジメント 点検・調査 L=30km	豊田市	■	■	■			33	
	ストックマネジメント計画																		
	A07-005		下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）管路改築	地震対策 L=1.8km	豊田市	■	■	■			1,600	
		下水道総合地震対策計画																	
		A07-006	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）管路整備	浸水対策 L=139m	豊田市	■	■	■			35	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	－	－	雨水管理総合計画	計画策定	豊田市	■					26		－
	A07-008	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道（雨水）管路改築	ストックマネジメント 改築 ・更新 L＝200m	豊田市			■			80		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-009	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	－	－	耐水化計画	計画策定	豊田市			■			10		－
											小計						2,904		
											合計						2,904		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊田市上下水道局（下水道建設課、下水道施設課、（上下水）企画課）において実施	令和4年11月
	公表の方法
	豊田市 下水道建設課ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ストックマネジメント計画に基づき、効率的な予防保全型維持管理により、都市の浸水対策や道路陥没の未然防止など安全・安心な暮らしの実現に寄与している。 ・各計画の策定により、効率的な都市の浸水対策案を示し、安全・安心な暮らしの実現に向けた一躍を担っている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・本計画については円滑に事業が進んでおり、目標を概ね達成することができた。継続事業については、令和3年度からの社会資本総合整備計画に位置付け、引き続き事業を実施する。 ・「中部ポンプ場の改築・更新」及び「雨水管路の地震対策」については、令和2年度より事業を効果的に実施するため、「浸水対策下水道事業」へ移行した。このことにより、本計画内で目標を達成することができないものとなったが、移行した新規事業を確実に実施し、事業効果の早期発現を目指していく。 ・「境川流域における宅地浸水被害解消のための雨水管路整備」については、令和2年3月に策定された雨水管理総合計画により、本事業に関する整備時期が見直されたため、関係機関との調整を行った上で令和3年度以降の完了を目指す。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	中部ポンプ場の改築・更新実施率		
	最 終 目標値	50%	令和2年度より浸水対策下水道事業へ移行したため。
	最 終 実績値	0%	
2	雨水マンホール蓋の改築・更新実施率		
	最 終 目標値	60%	効率的に雨水マンホール蓋の改築・更新が実施できたため、目標値を上回ることができた。
	最 終 実績値	64%	
3	雨水管路の点検調査実施率		
	最 終 目標値	49%	汚水管路及び雨水管路の点検・調査をしたところ、想定以上に汚水管路の劣化が進んでいたため、汚水管路を重点的に点検・調査をしたことにより、目標値に差異が生じた。
	最 終 実績値	45%	
4	雨水管路の地震対策実施率		
	最 終 目標値	21%	令和2年度より浸水対策下水道事業へ移行したため。
	最 終 実績値	0%	
5	宅地被害解消のための雨水管路整備率		
	最 終 目標値	100%	雨水管理総合計画の策定により整備時期を変更したため。
	最 終 実績値	42%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	雨水管路の更新実施率		
	最 終 目標値	22%	更新予定箇所の施工性と経済性を考慮した結果、更新延長を変更したため、目標値に差異が生じた。
	最 終 実績値	20%	
7	耐水化計画の策定実施率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	